

つなぎ言葉(接続語)

p.38 2-4 解説

1 接続語とは

言葉と言葉、文と文、段落と段落をつなぐ働きをする言葉を「つなぎ言葉(接続語)」といいます。つなぎ言葉に注目すると、言葉や文のつながり方がわかります。

2 接続語の種類

① 文や言葉を並べる

- ・ サンドイッチ、およびコーヒーを用意しています。
- ・ パンは120円です。そしておにぎりは130円です。

② 文や言葉を付け加える

- ・ 茶わんもはしも、それから湯飲みもそろっていた。
- ・ たこ焼きを買った。そのうえ綿菓子も買った。

③ 前の文の順当な結果を後の文で表す

- ・ ご飯を食べた。だからおなかがいっぱいだ。

④ 前の文と逆のことを後の文で表す

- ・ ご飯を食べた。でもまだおなかが空いている。

⑤ 前の文に説明をおぎなう

- ・ あまり食欲がない。なぜなら風邪を引いているからだ。
- ・ 水分の多い食べ物、たとえばももやぶどうが好きです。
- ・ 24時間ご利用できます。ただし、年末年始は除きます。

⑥ 前か後のどちらかを選ぶ

- ・ うどんを食べますか、それともそばを食べますか。
- ・ デザートには、プリンまたはケーキがついてきます。

⑦ 話題を変える

- ・ やっと片付けが終わったね。さて、昼食をとるとするか。